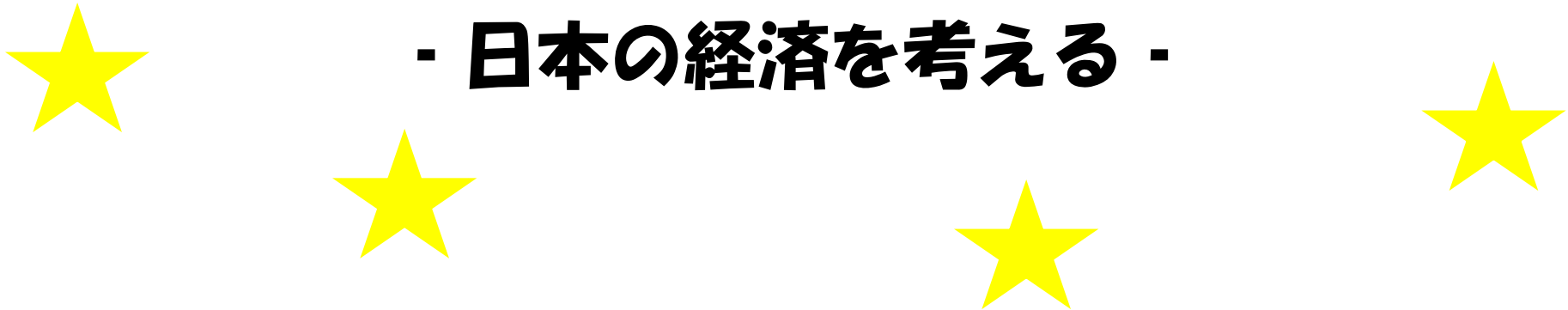




未来を選択する力を身に付ける テキスト



・ 日本を経済を考える ・



情報を集めよう

下記のキーワードに関連する新聞記事を集めて、自分が重要だと思うところに、線を引いておきましょう。また、政府や自治体がどのような取り組みをしているのかを調べておきましょう。

キーワード

「アベノミクス」、「経済成長」、「金融緩和」、「規制改革」、「2020年にGDP600兆円」

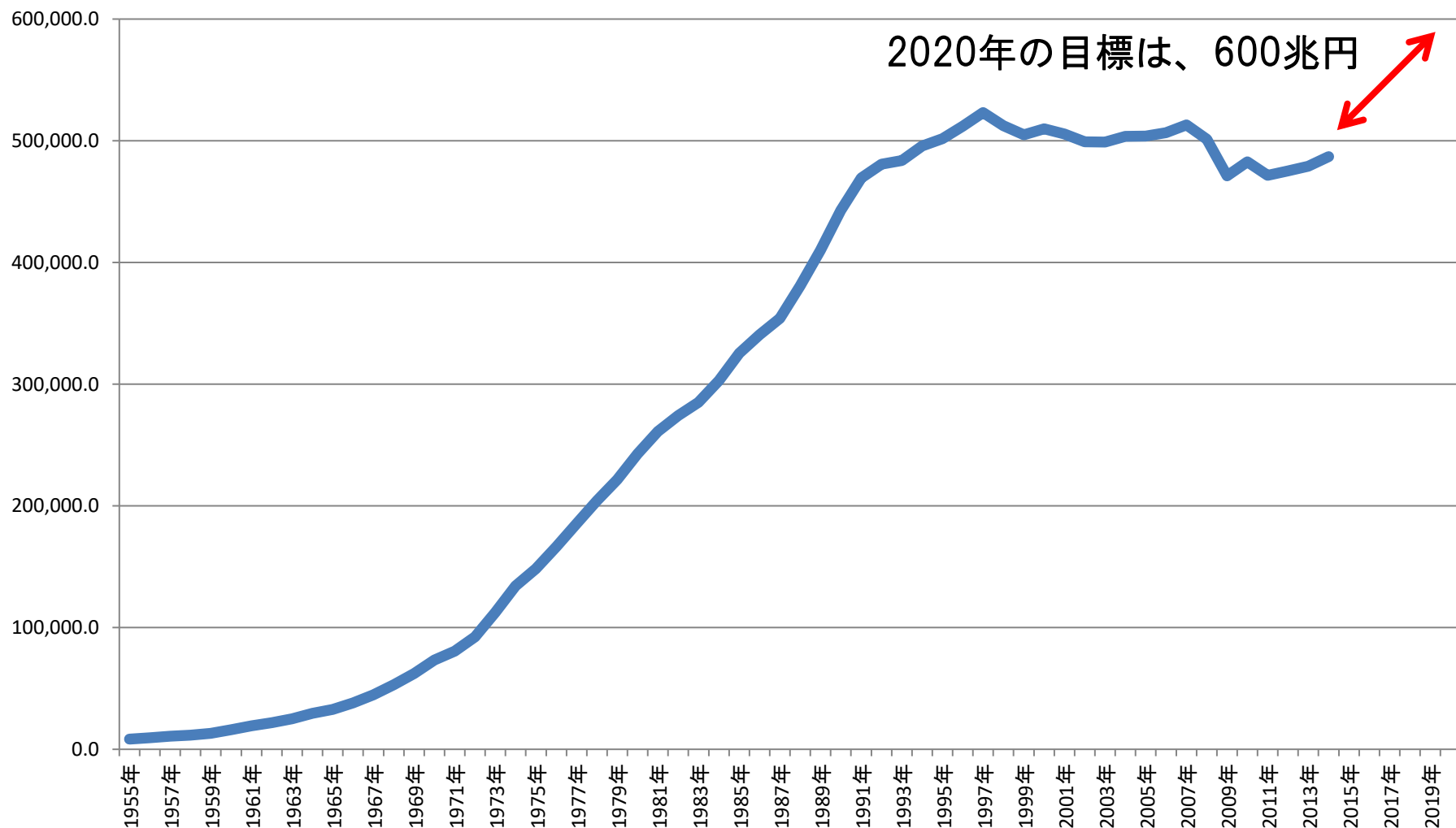
みんなで話してみよう

テーマ

経済成長は、必要だと思いますか？

必要だと思う人は、なぜ必要か、必要ではないと思う人は、なぜ必要なのかを説明してください。

日本のGDPの大きさを確認しよう



出所：内閣府『国民経済計算』（1998年度）、内閣府『国民経済計算』（2009年度）、内閣府『国民経済計算』（2014年度）

GDPは何を表す指標？

- GDPとは、「ある国の中で、ある一定期間内に、新たに生み出された付加価値の合計」を意味します。
- GDPは、どの国の国民かは関係なしに、ある国の国内で新たに生み出された付加価値です。
- 例えば、日本人であっても、日本人ではなくても、日本国内で新たに生み出された付加価値であれば、GDPに含まれます。



つまり、GDPとは、その国の経済の規模（大きさ）を測るための「ものさし」であると考えます。

たくさんの「付加価値」が生み出されていけば、今よりも、もっと多くの商品やサービスを手に入れることができたり、もっと質の良い商品やサービスを手に入れることができるかもしれません。

気が付いたことをメモしよう

このままでは、どうなってしまうだろう？

付箋紙を使って、データを見て思ったこと、感じたことを、なんでもいいから書き出してみましょう。

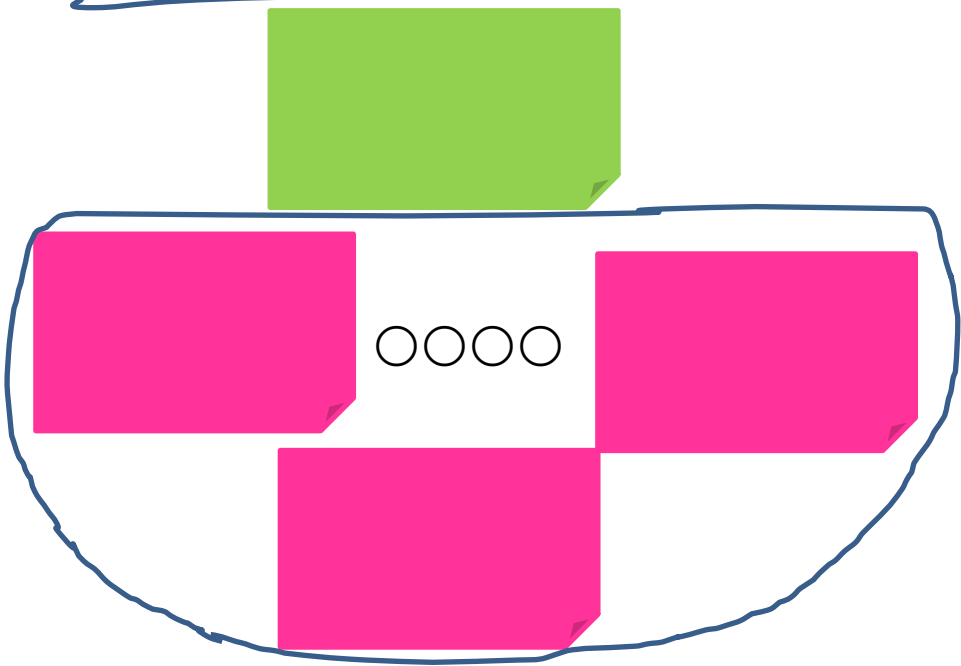
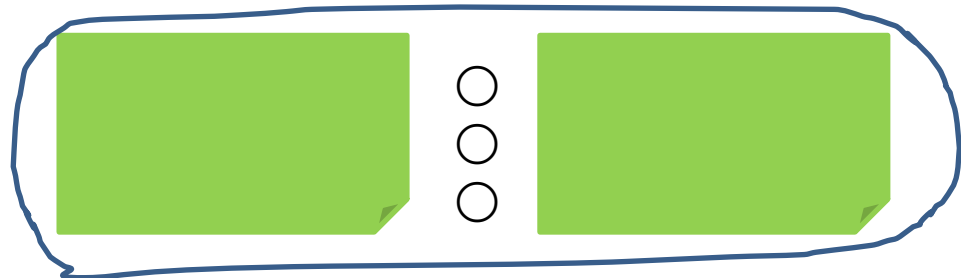
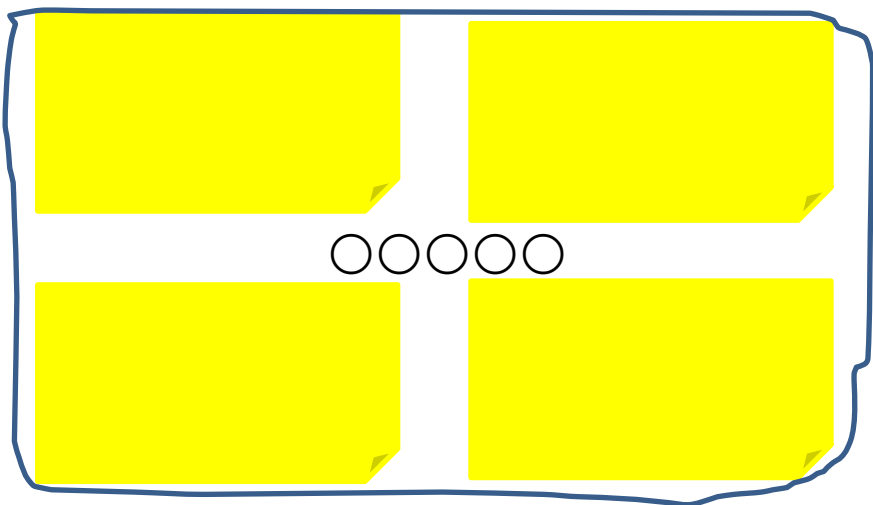
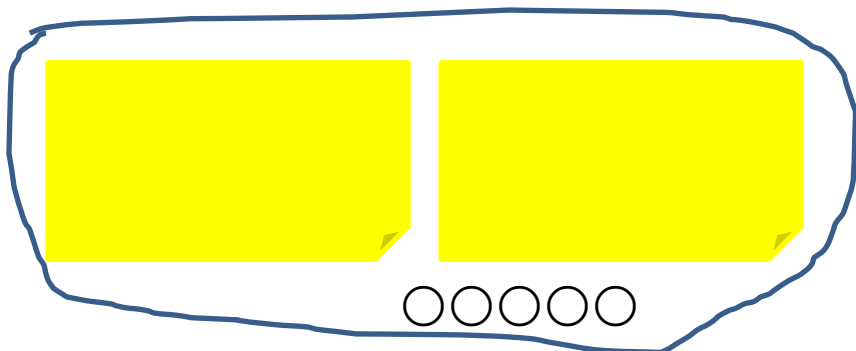
黄色の付箋紙には、「良いと思ったこと」、緑の付箋紙には「問題」と思ったこと、ピンクの付箋紙には、「これからやった方がいい」と思ったことを、一枚にひとつの内容を書いていき、全部で6枚作ってみよう



みんなの意見をまとめてみよう

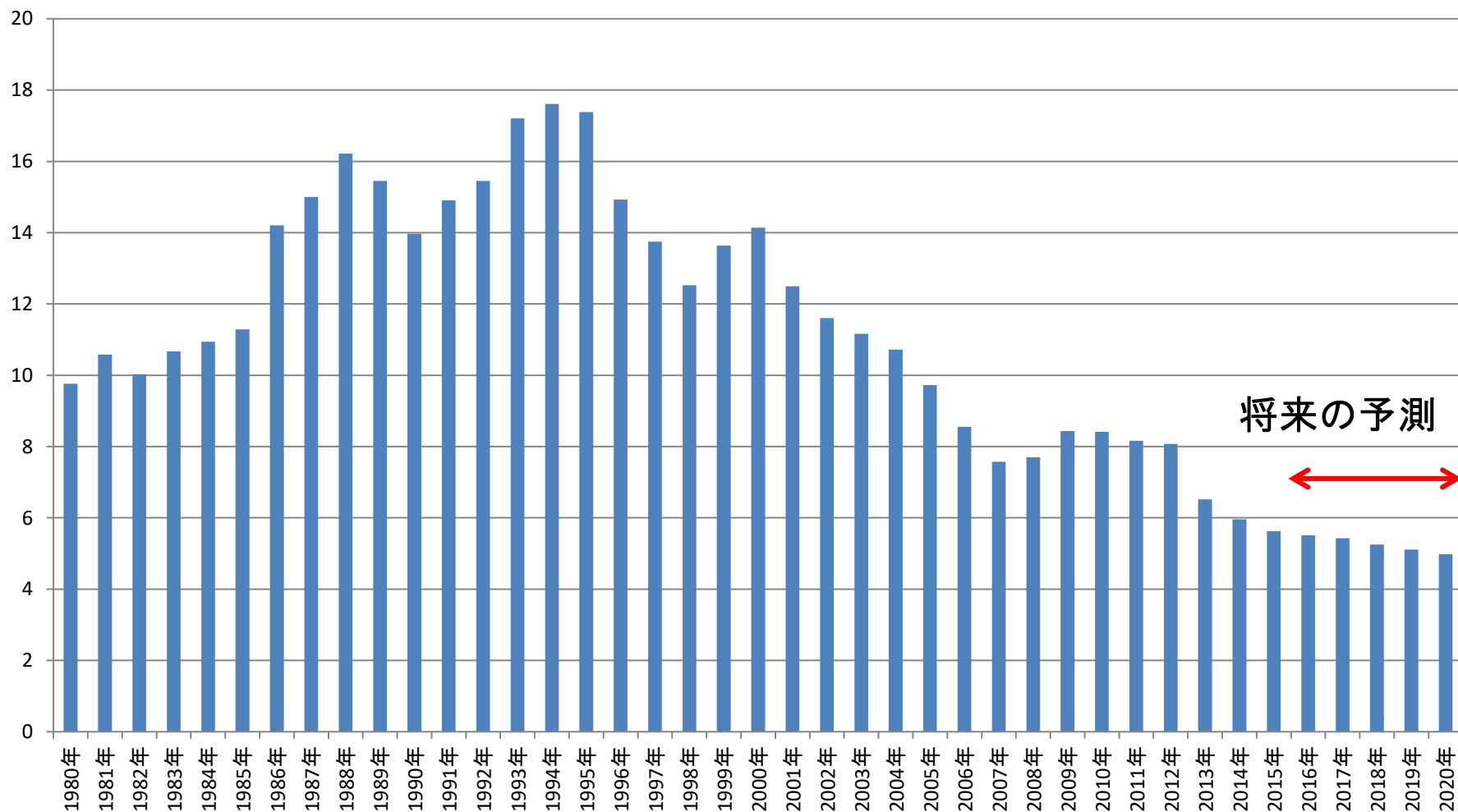
みんなが書きだした付箋紙を集めて、まとめて、発表してみよう。

まず付箋紙を色ごとに集めてみましょう。次に似た者同士を集め、色マジックで似た者同士を線で囲み、それぞれの共通項と思う言葉でタイトルを付けましょう。



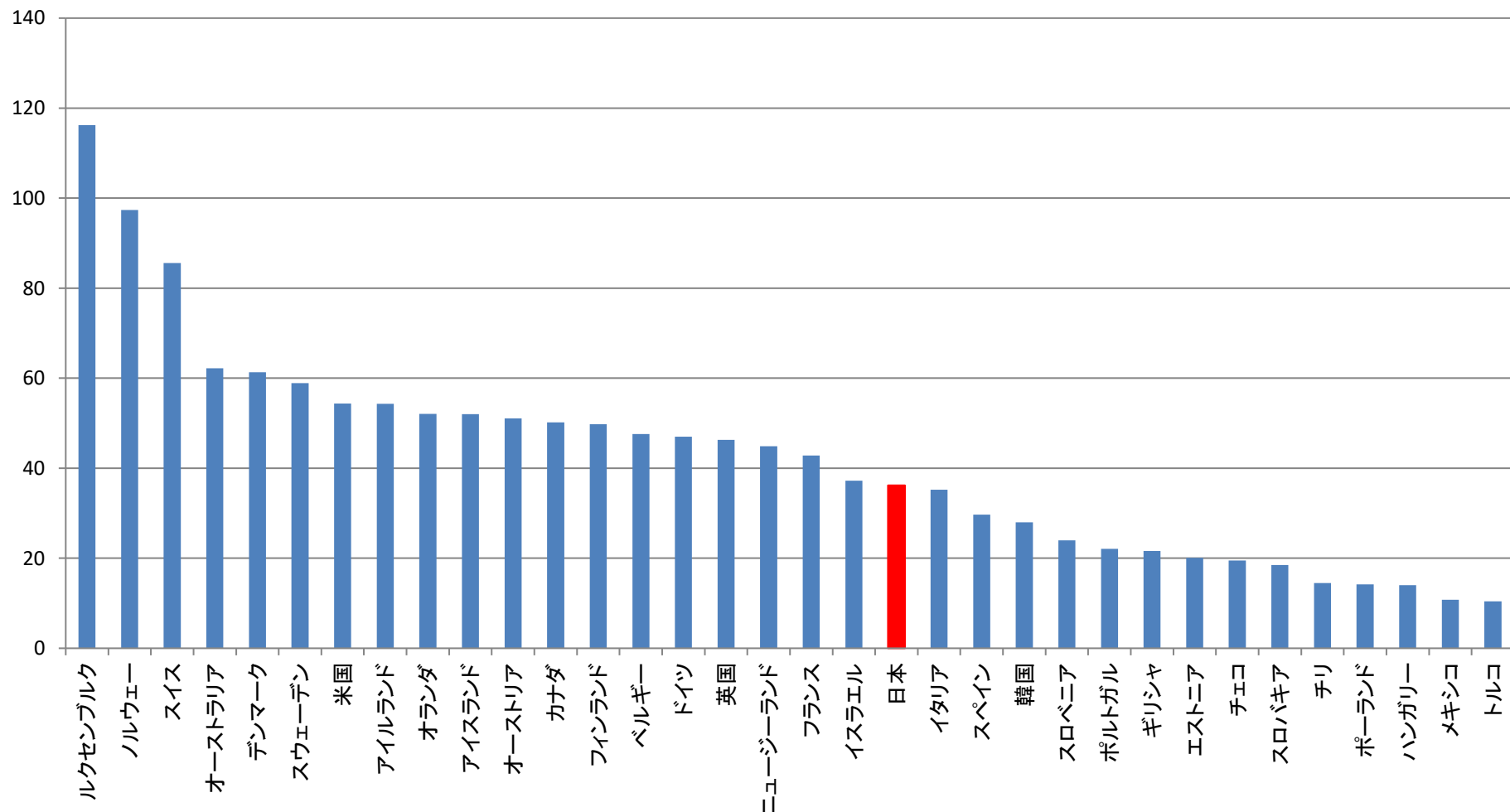
世界と比較してみよう

日本のGDPが世界全体のGDPの大きさに占める割合



世界と比較してみよう

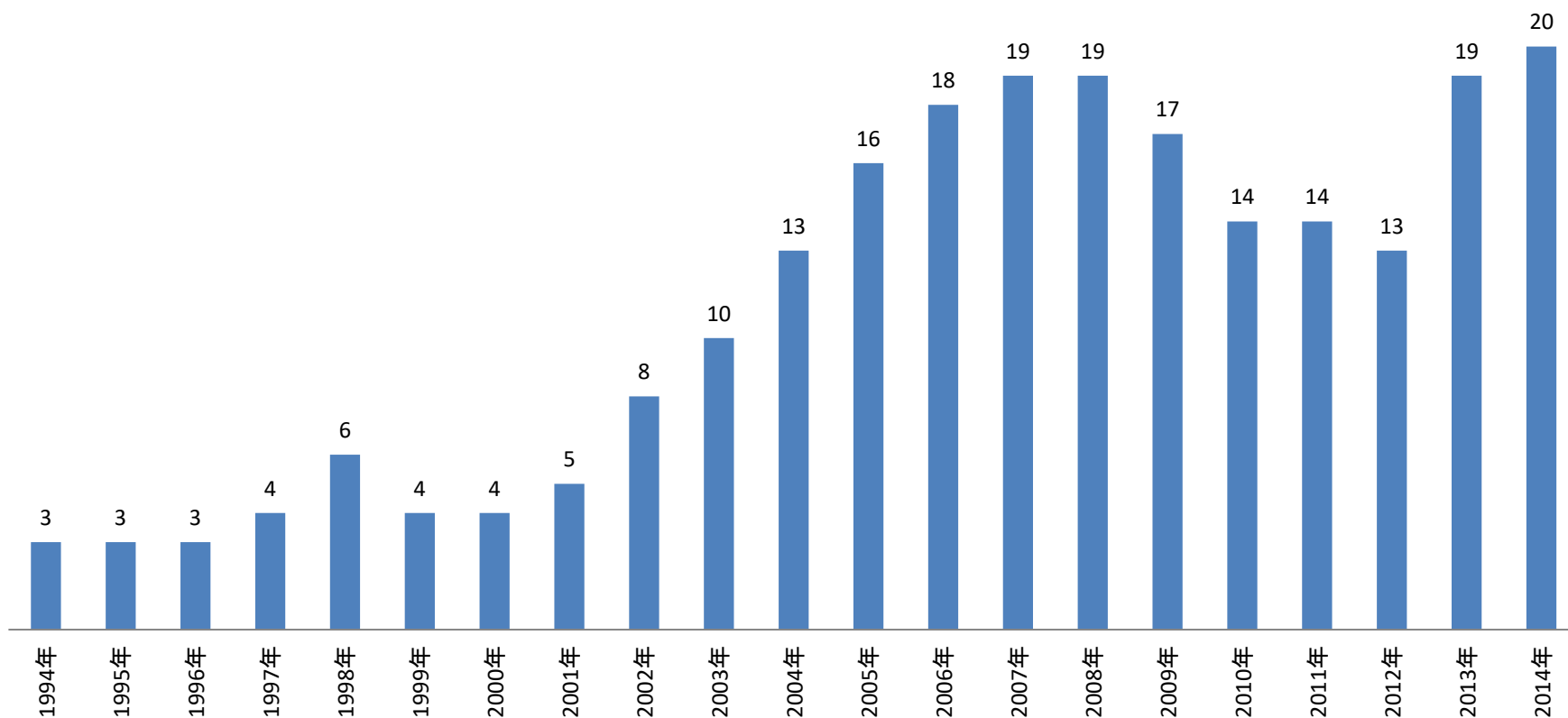
2014年の一人当たりGDPの国際比較（単位：米ドル）



世界と比較してみよう

一人当たりGDPの国際比較（日本の順位の変移）

※数字が小さい方が「上位」です



気が付いたことをメモしよう

これからどうすればいいのだろうか？

付箋紙を使って、データを見て思ったこと、感じたことを、なんでもいいから書き出してみましょう。

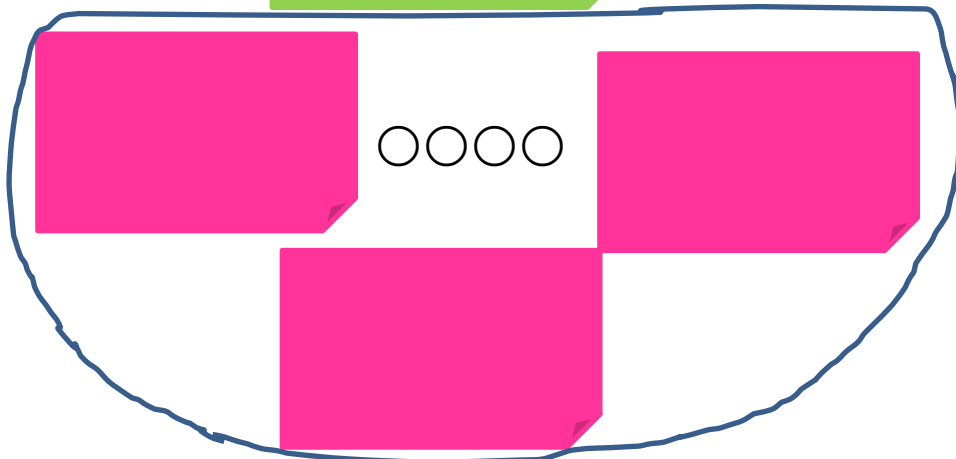
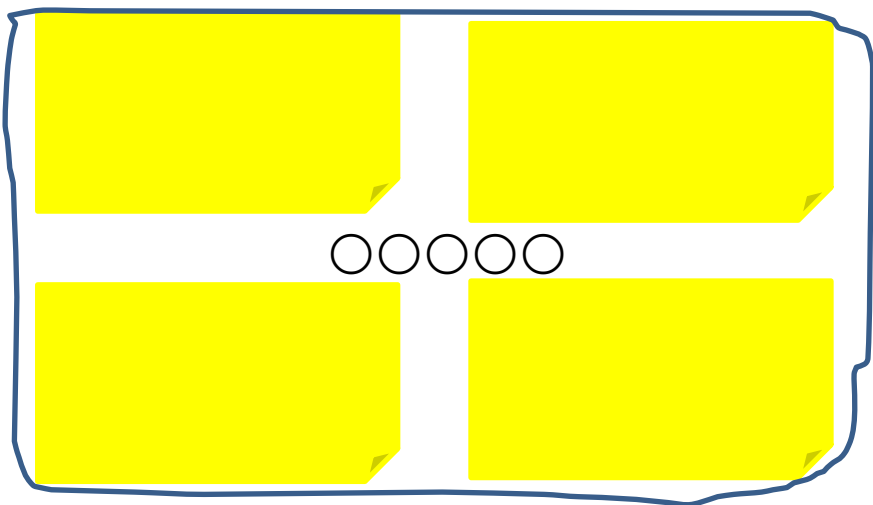
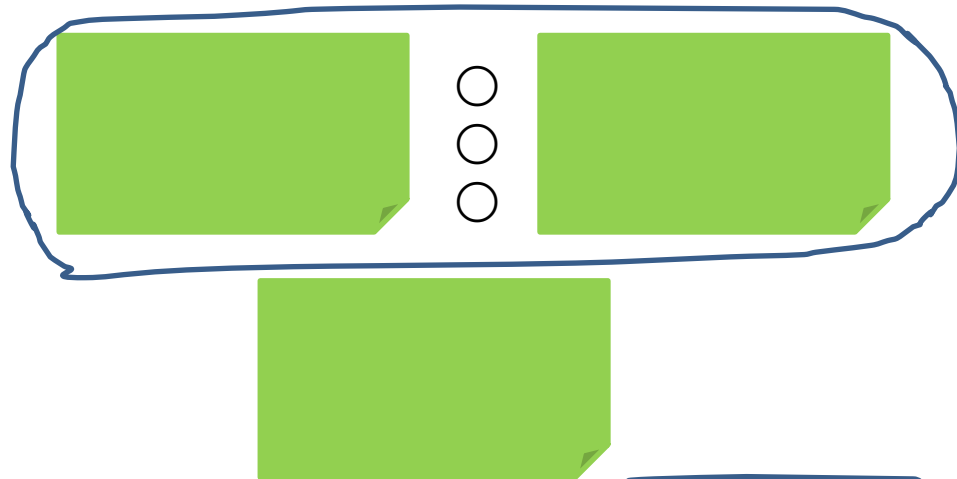
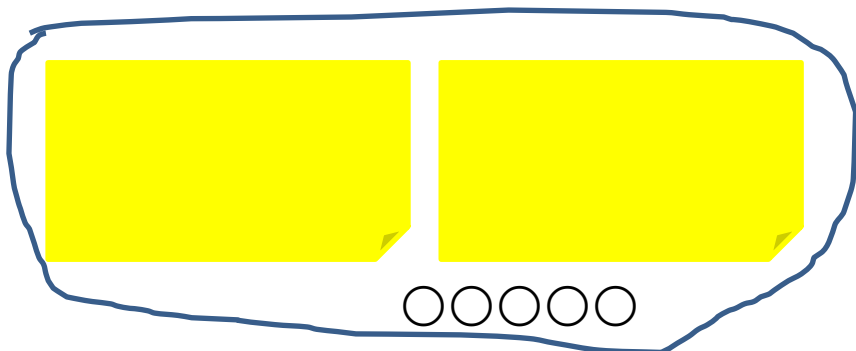
黄色の付箋紙には、「良いと思ったこと」、緑の付箋紙には「問題」と思ったこと、ピンクの付箋紙には、「これからやった方がいい」と思ったことを、一枚にひとつの内容を書いていき、全部で6枚作ってみよう



みんなの意見をまとめてみよう

みんなが書きだした付箋紙を集めて、まとめて、発表してみよう。

まず付箋紙を色ごとに集めてみましょう。次に似た者同士を集め、色マジックで似た者同士を線で囲み、それぞれの共通項と思う言葉でタイトルを付けましょう。



話し合ったことをまとめよう

これから「日本経済」をより良くしていくために、どのような取り組みが必要かを考えていきます。

経済の状況が良いと、どのような良いことがある？

経済の状況が悪いと、どのような悪いことがある？

という視点も考えながら、これまで話し合ってきたこと、考えたこと、思ったことを、「現状」、「課題」、「やるべきこと」を、グループでまとめてみましょう。

現状	課題
	やるべきこと

政策を考えよう

「日本経済」をより良くするための方法を3つの視点から考えて、それぞれの視点から、課題とどうすればいいかを挙げていきましょう。



政策を考えよう

これまで考えてきた「日本経済」をより良くするための方法を、発表できるようにまとめましょう。

政策プラン名を「キャッチフレーズ」的に表現すると・・・

政策プランを「3つの柱」にまとめて、説明しよう